B 149 婦人乗馬服について
大妻女子大学政 石井とめ子 神田順子 神保博美

目的 開発以来、上流階級の洋装化に伴い、風俗習慣の欧風化を積極的に導入した。それら階級の女性にも社交乗馬の風習が採用されると共に、女性用の横乗り乗馬服がわが国初のスポーツ着の一つとして用いられた。その特殊なシルエットをとそれを表現している構成面に興味をいただいて、鈴木報徳会管蔵 婦人乗馬服の研究をおこなった。
方法 實物調査及び復元による考証
乗馬服の機能に対する構成面を解明するために復元を試み、更にそれが実際乗馬した場合にどう機能するか、着装観察をおこなった。
結果 乗馬するための特殊な条件に適応させるために考えられた構成面、並びに補助工具等について理解を得ることができた。

B 150 明治・大正・昭和前期の学童の衣生活とその背景（第4報）
文教大教育 ○松田歌子 高島愛

目的 昨年の発表に続き、今回は文明開化の言葉で表される人々の生活の欧風化の入り口である横浜港をもと 横浜市の学童の衣生活の変遷とその背景について調査した結果を報告する。
方法 横浜市内、学制発布当初周辺、あるいはそれに近い工場をもつ小学校を対象に、市の中心部、東京に近い北部、山間部、がって海岸を主産業とした海岸部の小学校の、百年史、卒業写真、クラス写真、古文書、横浜市史、教育史 関わるその他より、衣生活の変遷およびその周辺を調査する。
結果
横浜港開港によって、港の近い地域は市の中心部として外国人の居留も多く、商業も繁栄したので、児童の衣服の和服から洋服への移行は 他地域に比べて10年は早い。
男女とも衣服（和服）の柄は、織物は無地からカシリへ移行する。男女の服装はかなり分かれ。
女児の髪型は結髪から次々にオッパに変化するが、地域差がある。
横浜港に近い市の中心部以外の人その生活は食しかったようで、児童の就学率の向上に関連は著しくしている。